

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時 平成24年11月〇日（〇）
- 2 場所 教室
- 3 学年 第3学年〇組
- 4 内容

D 身近な消費生活と環境

 - (1) ア 「消費生活への関心と消費者の権利と責任についての理解」
 - (2) イ 「生活に必要な物資・サービスの選択と購入、活用」

C 衣生活・住生活と自立

 - (1) イ 「衣服の活用と選択」
 - (2) ア 「住居の機能と住まい方」

5 題材 生活に必要なものを考えて選択しよう

6 題材設定の理由

(1) 題材観

現代は、情報化社会でいろいろな情報が得られる反面、情報が氾濫している。さらに、販売方法も多岐にわたっており、特に最近急激に普及しているインターネットを利用した通信販売では、中学生がトラブルに巻き込まれるケースも少なくない。本題材では、身近な教材を提示しながら、調べ学習やグループ学習を取り入れ、ワークシートを活用して情報を収集・整理させたり、グループで消費者トラブルへの対処法を考えたりすることを通して、消費者の権利と責任を理解し、様々な消費生活の問題を家庭の経済に結び付けて考え、かしこい消費者として自立していく力を付けることをねらいとしている。

(2) 生徒観

本学年の生徒は、これまでに学習した衣食住などに関する基礎的・基本的な知識や技術を家庭生活で活用しようとする態度が身に付きつつある。しかし、本題材で学ぶ内容については、自信をもてない生徒も多く、保護者に頼る傾向にある。小学校では「表示を見て買う」ことや、「身近な物の選び方、買い方」について学習しているが、決められた小遣いの範囲で、いろいろな商品を購入する経験をしている生徒は少ない。そのため、実際の社会生活を営む上で必要な消費者としての自覚や消費者としてトラブルを解決する方法などについての知識・理解や工夫・態度は、まだ身に付いていないと考える。

(3) 指導観

消費活動に関心をもち、購入計画をたて、自信をもって購入しようとする態度を育てることが大切である。そのために本題材を通して、物資の選択を工夫する力や、購入のための情報を収集し整理する力を付けさせたい。そこで、次のような指導を行う。

- ① 理解を深めるためにCMやパワーポイントを教材・教具として取り入れる。
- ② ワークシートを工夫することで、授業の流れをわかりやすくするとともに、学習意欲を喚起・継続させる。
- ③ 少人数での相談と発表を取り入れ、努力を要する生徒への基礎基本の定着と発言の意欲を高める。
- ④ グループごとの相互交流により、言語活動を充実させる。

7 題材の目標

自分や家族の消費生活に関心をもち、生活に必要な物資・サービスの適切な選択と購入について考え、実践できる力を養う。

8 指導計画（5時間扱い）

「生活に必要なものを考えて選択しよう」

〔1次〕物資やサービスを適切に選ぼう〔2時間〕

自分や家族の消費生活を振り返ろう（1時間）

よりよい商品の選択をしよう（1時間 本時）

〔2次〕消費者トラブルを解決しよう〔3時間〕

消費者の権利と責任（1時間）

消費者トラブルへの対処法を考えよう（2時間）

9 本時の学習

(1) 学習課題

自分や家族の消費生活に関心をもち、消費生活をより身近な問題としてとらえることができる。

(2) 学習目標

商品の選択と購入について考え、身近な商品を選択することができる。

(3) 学習活動における仮説

販売方法や商品について情報を得る方法について知り、商品を購入するときに必要な条件について考えながら、身近な商品について選択をしていくことで、自分の生活の中でも商品を考えて選択できるであろう。

(4) 本時の評価規準

- ① 生活や技術への関心・意欲・態度
 - ・カタログの情報を調べ、商品を選ぶ視点を考えながら、適した商品を記入できる。
- ② 生活を工夫し創造する能力
 - ・収集整理した情報を活用して、商品を選択購入するために考えたり工夫したりしている。

10 展開

	学 習 活 動	学習活動の支援・説明 (努力を要する生徒への手だて)	評価の規準や方法	教材・ 教具
課 題 作 り	○前時の振り返りをする。 ○本時の学習内容の確認をする。	【活動指示】 「商品をサービスと物資に分類してみよう。」 ・商品の選択について学習することを知らせる。		ワーク シート パワー ポイン ト
計 画 の 立 案	○販売方法、商品について 情報を得る方法について 考える。 ○本時のねらいを確認す る。	【発問】 「CMを見て、商品の販売方法や商 品についての情報を得る方法を 考えよう。」		ワーク シート DVD
「カタログから学校用カーテンを選択しよう」				
実 践	○自分の考えたカーテンの 条件を記入する。 個人 ○各自で考えた条件を出し 合い、重要な条件を選択 し、重要度を決める グル ープ	【発問】 「学校の窓にかけるカーテンを選 んで購入するとき、どんなことを 考えたらよいだろう。」 【支援】 身近なものを購入するときの条件 を考えさせる。 【支援】 カタログから読み取ることができ る情報を条件にあげてもよいこと を説明する。 (パワーポイントによる補足説明)	・カーテンを選ぶ条 件を記入している。 【ワークシート】 (関)	ワーク シート カタロ グ パワー ポイン ト

	<p>価格、色、材質、寸法 遮光度、防火性、洗濯方法など</p> <p>○班で一つ、カタログからカーテンを選択し、理由をまとめる。 グループ</p> <p>○班ごとに発表し、全員で交流する。 全体</p> <p>○今後、商品を購入する時生かそうと思うことを記入する。 個人</p>	<p>【支援】 班で考えた条件や重要度にあったカーテンを選んでいるか考えさせる。</p> <p>・カーテン番号、色 ・カーテンを選んだ理由 (おすすめポイント)</p>	<p>・班で考えた「選択の条件」に合ったカーテンを選択し、理由をまとめている。</p> <p>【行動観察】 【ワークシート】 (工夫)</p> <p>・自分の消費生活に生かしたいことを記入している。</p> <p>【ワークシート】 (工夫)</p>	<p>ワークシート</p>
<p>まとめ</p>	<p>○本時の授業の自己評価を学習記録表に記入する。</p>			<p>学習記録表</p>